

■横川ダム水源地域ビジョンが策定されました。

■水源ビジョンとは

「水源地域ビジョン」は、ダムを活かした水源地域の自立的・持続的な活性化を図り流域内の連携と交流によるバランスのとれた流域圏の発展を図ることを目的としています。そして、ダム水源地域の住民、自治体等がダム事業者・管理者と共同で策定主体となり、水源地域活性化のための行動計画を立てるものです。

■策定までのあゆみ

水源地域ビジョンを策定するために、学識者、マスコミ、検討会代表、行政からなる「策定委員会」と住民活動団体からなる「検討会」を組織しました。

策定委員会は平成19年3月～平成20年3月までの間に5回開催し、ビジョンの柱となる基本理念を中心に検討してきました。また、一般公募で寄せられた意見をもとに、「白い森おぐに湖」という湖名を選定しました。

検討会は平成19年1月～平成20年2月の間に5回開催しました。その中でテーマ別に具体的な活動を議論する3つのワーキング会議を設け、試行イベントも行いながら、行動計画や推進計画を中心に話し合ってきました。

■基本理念

水源地域の「白い森」は、荒川流域の人々に豊かな恵みを与えてきました。また、そこに住む人々は、この恵みを多彩な文化や暮らしの知恵へと育ててきました。荒川流域が今後も豊かな繁栄を続けるためには、この水源の白い森を守り、育てていくことが重要と考えています。水源地域ビジョンでは次の理念のもと、この地に住む人々とともに活動し、全国の人たちにこの水源の白い森の情報を発信していきます。

そして、訪れる人々もこの白い森に触れ、ここをこよなく愛し、さらに大きな運動へと発展することを目指していきます。



ビジョンの大木（森を木々が伸ばす理念の枝）

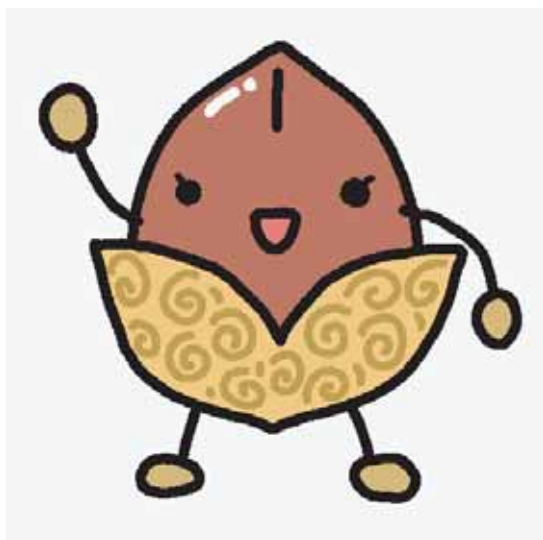
白い森での活動（木々）を育て、
「森を守り育む」一つの方向性をもった運動（森）として進めていきます。
この森の木々は、理念の枝を伸ばし、
これから新たな実が生まれ、さらに大きな森へと成長します。

白い森の恵みが育む元気な水源の郷づくり

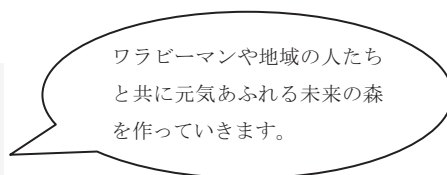
横川ダム水源地域ビジョンのテーマは、水源の「白い森が与えてくれる豊かな恵み」や「そこで培われた暮らしの知恵など」を学び、知らせることにより、ここに住む人たちが「白い森」の恵みや限りない可能性を活かした活性化を創造するとともに、次代を担う子供たちが学びながら元気あふれる水源の未来をつくり出すための行動をイメージしたものです。

■ ビジョンのマスコット

横川ダム水源地域ビジョンのマスコットは、大きく元気な白い森を創造する象徴として、「ブナの実」を題材にしてデザインしました。



白い森の元気っ娘
ブナミちゃん



ワラビーマンや地域の人たち
と共に元気あふれる未来の森
を作っていきます。

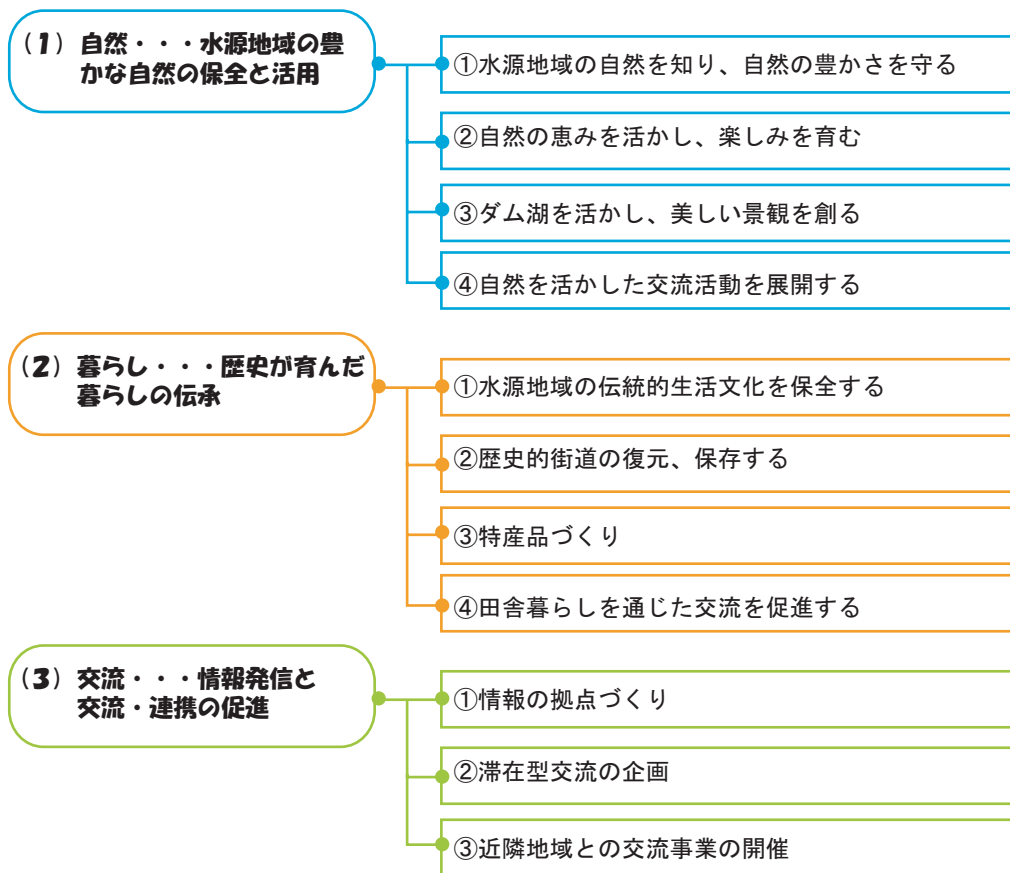


白い森の観光大使
ワラビーマン



■ 行動計画（住民活動団体、住民のみなさんが行動の主人公です）

「自然」「暮らし」「交流」の分野について住民活動団体が連携し、自主的に活動する具体的な行動計画を立てました。



■ 3つのプロジェクトを先行して進めます。

ビジョンをより効果的に推進するために、地域づくりをけん引するリーディング・プロジェクトを立ち上げ、これを、森づくりの大木として位置づけます。

大木とは求心力があって、広がりのある大枝を伸ばし、多くの住民が集まり、花と実を豊につけられる木（計画）をイメージします。

白い森の大学

既存の体験イベント等を活かしつつ、小国町の自然、文化の素晴らしさを町民に伝承するとともに、白い森のキャンパスで各種の体験学習が行われていることを広く認識していただくためのプロジェクトです。

白い森おぐに湖の創造と活用

白い森に新たに生まれた「白い森おぐに湖」。この環境は正に手つかずの白いキャンパスです。みんなでこの森の湖を守り、活かし、そして未来を創造する行動やルールを考え、このキャンパスに未来の絵を描き始めます。

情報の共有と発信拠点づくり

連携活動の要として、情報の受発信、対外的な窓口を担う拠点をつくります。さらに小国町の自然、文化、観光等に関する情報を一元的に集め、共有化をはかるとともに、滞在型観光など、新たなメニューの開発に努めます。

また、こうした情報を小国町のおもてなしの心とともに発信できるHPなどを開設します。

■ビジョンは今後、ビジョン推進協議会を立ち上げて進めていきます。

これまでの検討会を母体に小国町、横川ダム管理支所が参加するビジョン推進協議会を組織し、連携を強化しながら行動計画と3つの先行プロジェクトを具体的に進めていきます。

また、策定委員会のなかから学識者の先生にはアドバイザーとして協力していただきます。

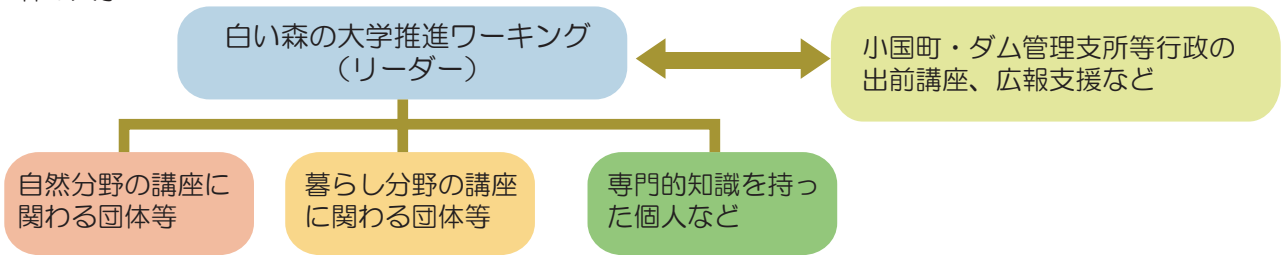
横川ダム水源地域ビジョン策定委員会

- 【委員長】 菊地 和博 (東北芸術工科大学東北文化研究センター准教授)
 宮原 博通 ((有)地域環境デザイン研究所所長)
 角屋 由美子 (米沢市上杉博物館、(財)米沢上杉文化振興財団 主任学芸員)
 小野 精一 (小国町長)
 小松 喜巳男 (山形県置賜総合支庁地域振興監)
 松本 昭弘 (山形新聞社長井支社長)
- 【検討会代表者】 (横川ダム水源地域ビジョン検討会)
 五十嵐 晃 (北陸地方整備局横川ダム工事事務所長)
- 【オブザーバ】 岡部 久 (東北森林管理局置賜森林管理署長)

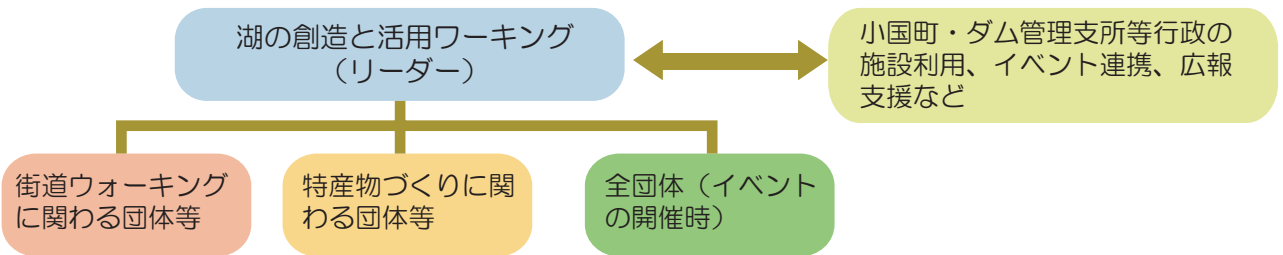
横川ダム水源地域ビジョン検討会

- 構成団体
 ウォーキング会・NPO法人おぐに森と水辺の会・大滝資源開発・小国町観光協会・小国町漁業協同組合・小国町交流まちづくり研究会・小国山岳会・小国町商工会・小国町商工会女性部・小国町商工会青年部・小国町森林組合・小国町文化協会・おも白い森・金太郎後援会・くらしを考える会・黒沢敷石道保存会・NPO法人ここ掘れ和ん話ん探検隊・こだわり農業研究会・民宿奥入荘・白い森案内人・森林インストラクター・東部地区振興協議会・箱口集落総代・ふるさと市野々会・山形おきたま農業協同組合小国支店叶水取次店・有機農業研究会・横川ダム推進協力会・横川ダム対策協議会

①白い森の大学



②白い森おぐに湖の創造と活用



③情報の共有と発信拠点づくり

